

現研 第424回新経営具体化研究会

世界を変える8人の企業家たちの思考と行動

■講 師 桑原晃弥氏

経済・経営ジャーナリスト

●日 時 2025年6月27日(金)15:00~17:00

●開催方式 Zoomによるオンライン開催

※ 当研究会は講演形式を基本としながらも、参加者の疑問点や問題提起に応える質疑応答を重視して進めます。

<プログラム>

Ⅰ. 世界を変えようとして変えてきた企業家たちの
思考と行動

Ⅱ. 世界を変える8人が乗り越えてきたもの

- ◆一人目 イーロン・マスク氏(テスラ、スペースX創業者):
幾度もの危機と大失敗を乗り越えてナンバーワン&オンリーワン企業へ
- ◆二人目 サム・アルトマン氏(Open AI 創業者):
イーロン・マスクとの確執や、経営者解雇の危機を乗り越えて未来に挑戦
- ◆三人目 サティア・ナデラ氏(マイクロソフト三代目CEO):
過去に繁栄した企業になりかけていたマイクロソフトを再生
- ◆四人目 ジェンスン・ファン氏(エヌビディア創業者):
幾度かの資金難を乗り越えてGPUの未来に賭ける
- ◆五人目 モリス・チャン氏(TSMC創業者):
創設時の資金難を乗り越え、エヌビディアの成長などを後押しする
- ◆六人目 リード・ヘイスティングス氏(ネットフリックス創業者):
リストラを経て、ネット配信や自前での映画製作などに舵を切る
- ◆七人目 ジェフ・ベゾス氏(アマゾン創業者):
ITバブル後の株価の大幅下落を乗り越え、世界有数の企業を育てる
- ◆八人目 ウォーレン・バフェット氏(バークシャー・ハザウェイ創業者):
落ちぶれた繊維会社をつくり変えて世界屈指の保険と投資の会社へ

Ⅲ. 彼らの共通点と相互のつながり

Ⅳ. 質疑応答

■講師プロフィール

桑原晃弥(くわばらてるや)氏

慶應義塾大学卒。業界紙記者などを経てフリージャーナリストとして独立。トヨタ式の普及で有名な若松義人氏の会社の顧問として、トヨタの実践現場や、大野耐一氏直系のトヨタマンを幅広く取材、トヨタ式の書籍やテキストなどの制作を主導した。一方でスティーブ・ジョブズやジェフ・ベゾスなどのIT企業の創業者や、本田宗一郎、松下幸之助など成功した起業家の研究をライフワークとし、人材育成から成功法まで鋭い発信を続けている。著書に『スティーブ・ジョブズ名語録』(PHP研究所)、『トヨタ式「すぐやる人」になれる8つのすごい!仕事術』(笠倉出版社)、『ウォーレン・バフェット巨富を生み出す7つの法則』(朝日新聞出版)、『トヨタ式5W1H思考』(KADOKAWA)、『1分間アドラー』(SBクリエイティブ)、『不可能を可能にするイーロン・マスクの名言』(ぱる出版)、『ウォーレン・バフェット 賢者の名言365』(かや書房)、『世界最強の現場力を学ぶ トヨタのPDCA』(ビジネス教育出版社)、『イノベーションを起こすジェフ・ベゾスの言葉』(リベラル社)、『イーロン・マスクとは何者か』(リベラル社)などがある。

ご参加をお勧めします

今回は講師に桑原晃弥氏をお迎えし、「世界を変える8人の企業家たちの思考と行動」と題し、検討を進めます。氏が選んだ現役企業家たちの共通点は、世界を本気で変えようとして変えてきたということです。そしてこれからも彼らの強力なビジョンが世界を動かしていくだろうということです。

桑原晃弥氏の多くの著述を読んでみて感じる凄さは、氏はこれらの人物を、当初から同時代の存在として追いかけてきており、それゆえに彼らの失敗とその克服のプロセスをその時代の文脈の中で浮かび上がらせて生き生きと語ることです。そして彼らの交流、対立、相互の思想の交換等を描き出していることも秀逸です。

イーロン・マスク、サム・アルトマン、サティア・ナデラ、ジェンスン・ファン、モリス・チャン、リード・ヘイスティングス、ジェフ・ベゾス、ウォーレン・バフェット。桑原晃弥氏を囲んでお話をうかがい、これら8人の企業家たちの思考と行動に関する独自の流儀を検討します。

そして私たちも私たち自身の領域で世界を変えようとして変えるための挑戦を続けたいと思います。

ご参加をお勧めします。

現研所長 大槻 裕志

